

# 傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準

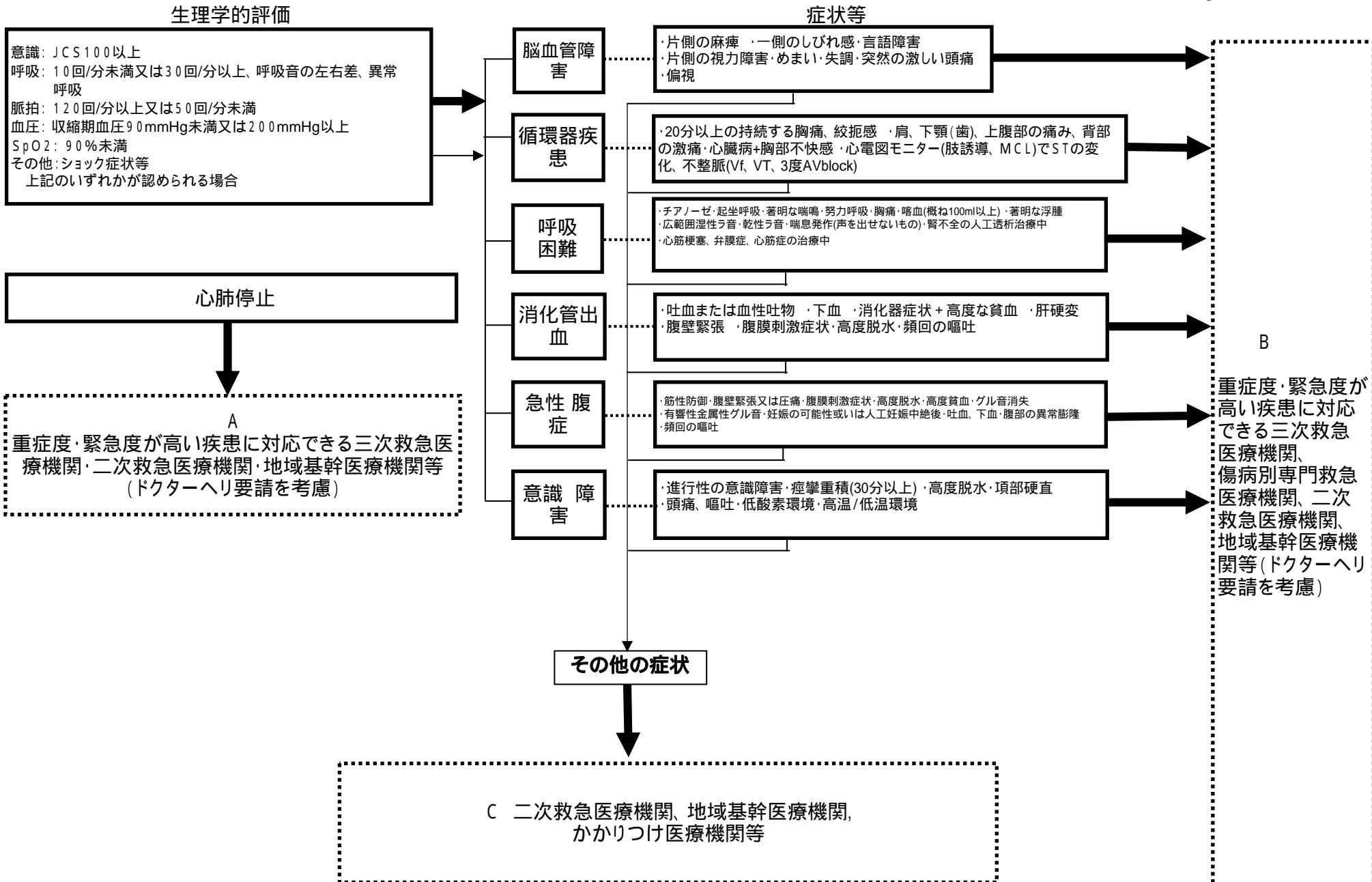
長崎地域

## 附則

平成24年 3月28日 作成  
令和 3年 1月19日 一部改正  
令和 3年 8月19日 一部改正  
令和 4年 7月12日 一部改正  
令和 7年 2月 6日 一部改正  
令和 7年10月28日 一部改正

# 目 次

	頁
(第1号) 分類基準	1 傷病者的心身等の状況に応じた適切な医療の提供が行われることを確保するために医療機関を分類する基準
(第3号) 観察基準	消防機関が傷病者の状況を観察(確認)するための基準
(第2号) 医療機関リスト	4 分類基準に基づき分類された医療機関の区分及び当該区分に該当する医療機関の名称
(第4号) 選定基準	6 消防機関が傷病者の搬送を行おうとする医療機関を選定するための基準
(第5号) 伝達基準	7 消防機関が傷病者の搬送を行おうとする医療機関に対し傷病者の状況を伝達するための基準
(第6号) 受入医療機関確保基準	8 傷病者の受け入れに関する消防機関と医療機関との間の合意形成するための基準その他傷病者の受け入れを行う医療機関の確保に資する事項
(第7号) その他の基準	9 傷病者の搬送及び傷病者の受け入れの実施に關し必要と認める事項
トリアージシート	10



## 生理学的評価

意識: JCS 100以上  
呼吸: 10回/分未満又は30回/分以上、呼吸音の左右差、異常呼吸  
脈拍: 120回/分以上又は50回/分未満  
血圧: 収縮期血圧90mmHg未満又は200mmHg以上  
SpO<sub>2</sub>: 90%未満  
その他: ショック症状等  
上記のいずれかが認められる場合

## 外傷

## 症状等

解剖学的評価  
・顔面骨骨折・頸部または胸部の皮下気腫・外頸静脈の著しい怒張  
・胸郭の動搖・フレイルチェスト・腹部膨隆、腹壁緊張  
・骨盤骨折(骨盤の動搖、圧痛、下肢長差)  
・両側大腿骨骨折(大腿の変形、出血、腫脹、圧痛、下肢長差)  
・頭部、胸部、腹部、頸部または鼠径部への穿刺性外傷(刺創、銃創、刃創など)  
・15%以上の熱傷を複合している外傷、顔面または気道の熱傷  
・デグローピング損傷・多指切断(例えば手指2本、足指3本)・四肢切断  
・四肢の麻痺

## 心肺停止

A  
重症度・緊急度が高い疾患に対応できる三次救急医療機関・二次救急医療機関・地域基幹医療機関等  
(ドクターヘリ要請を考慮)

→ あり  
→ なし

## 熱傷

・度熱傷30%以上、度熱傷10%以上・化学熱傷・電撃傷  
・気道熱傷・顔、手、足、陰部、関節の熱傷・他の外傷を合併する熱傷  
・小児 度熱傷10%以上、高齢者 度熱傷5%以上

## 中毒

・毒物摂取・医薬品(少量の解剖・抗精神薬を除く)・工業用品(強酸、強アルカリ、石油製品、青酸化合物)・覚醒剤・麻薬・毒性のある食物・農薬・家庭用品(防虫剤、殺鼠剤等)  
・有毒ガス・何を飲んだか不明のもの

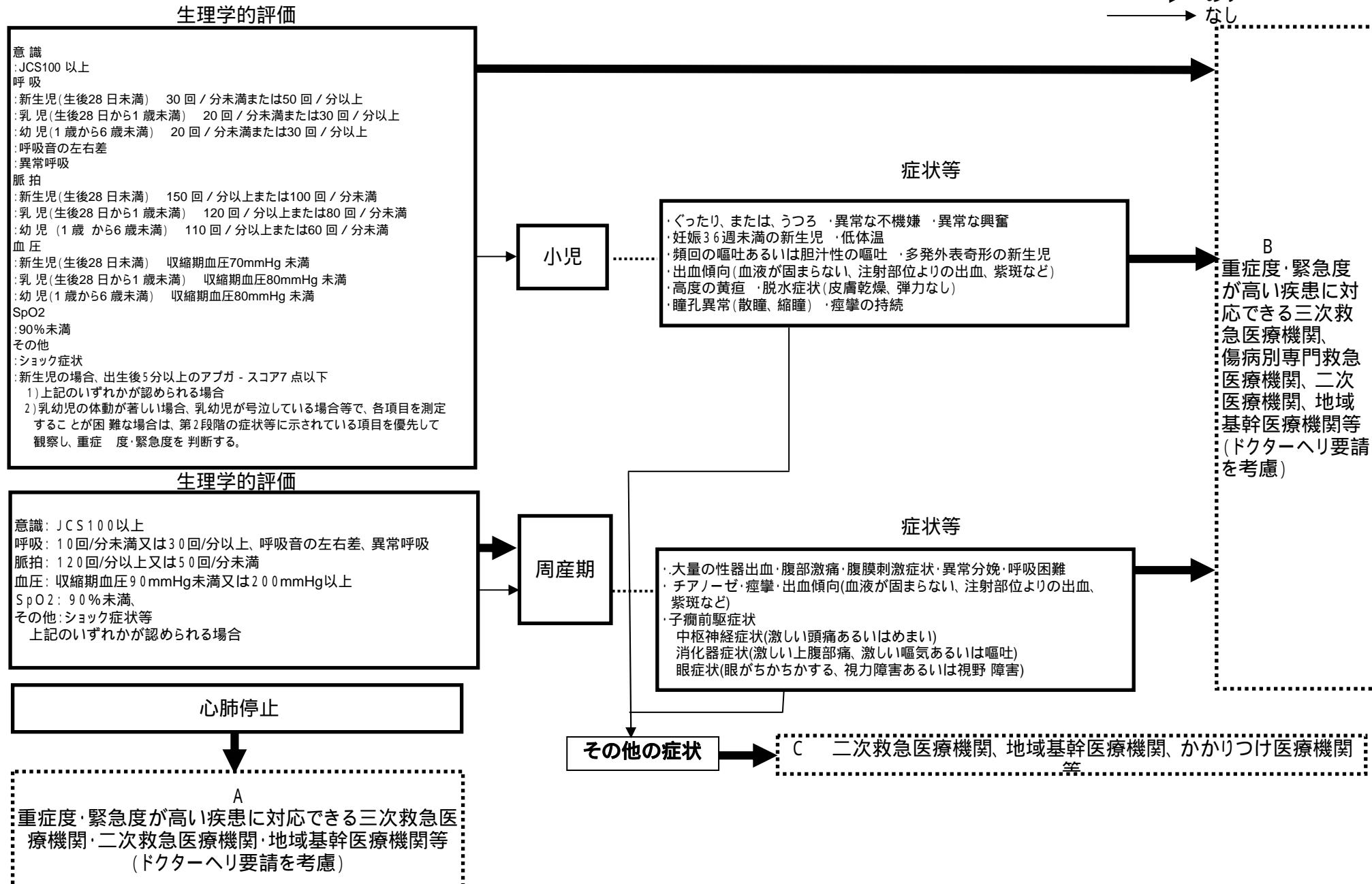
## その他の症状

B  
重症度・緊急度が高い疾患に対応できる三次救急医療機関、傷病別専門救急医療機関、二次救急医療機関、地域基幹医療機関等(ドクターヘリ要請を考慮)

C 二次救急医療機関、地域基幹医療機関、かかりつけ医療機関等

## 第1号(分類基準)

## 第3号(観察基準) 小児・周産期



## 第2号医療機関リスト(公開用)

令和7年2月1日現在 別添

		医療機関リスト	
重篤(バイタルサイン等による)		長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、掖済会病院、長崎記念病院、田上病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、聖フランシスコ病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、虹が丘病院、光晴会病院、日浦病院、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)	
心肺停止		長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、長崎記念病院、田上病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、聖フランシスコ病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、虹が丘病院、上戸町病院、光晴会病院、日浦病院、千綿病院、大久保病院、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)	
脳血管障害	重症度・緊急度【高】	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、十善会病院、森の木脳神経脊髄外科、安永脳神経外科、長崎北徳洲会病院、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)	
	t-PA適応疑い	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、森の木脳神経脊髄外科、安永脳神経外科、長崎記念病院、長崎北徳洲会病院、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)	
	その他	長崎みなとメディカルセンター、長崎記念病院、田上病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、聖フランシスコ病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、上戸町病院、日浦病院、千綿病院、大久保病院、森の木脳神経脊髄外科、安永脳神経外科、長崎北病院、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)	
循環器疾患	重症度・緊急度【高】	長崎大学病院、光晴会病院、長崎みなとメディカルセンター、ながさきハートクリニック、虹が丘病院、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)、済生会長崎病院	
	PCI適応(ACS疑い含む)	長崎大学病院、光晴会病院、長崎みなとメディカルセンター、長崎原爆病院、虹が丘病院、長崎記念病院、ながさきハートクリニック、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)、済生会長崎病院	
	その他	長崎みなとメディカルセンター、掖済会病院、長崎記念病院、田上病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、聖フランシスコ病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、虹が丘病院、上戸町病院、光晴会病院、日浦病院、千綿病院、大久保病院、ながさきハートクリニック、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)	
一般内科	呼吸困難	重症度・緊急度【高】	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、長崎記念病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、虹が丘病院、光晴会病院、日浦病院、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)
		その他	長崎みなとメディカルセンター、掖済会病院、長崎記念病院、田上病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、聖フランシスコ病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、虹が丘病院、上戸町病院、光晴会病院、日浦病院、千綿病院、大久保病院、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)
	消化管出血	重症度・緊急度【高】	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、長崎記念病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、聖フランシスコ病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、虹が丘病院、光晴会病院、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)
		その他	長崎みなとメディカルセンター、長崎記念病院、田上病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、聖フランシスコ病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、虹が丘病院、上戸町病院、光晴会病院、日浦病院、千綿病院、大久保病院、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)
	急性腹症	重症度・緊急度【高】	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、長崎記念病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、聖フランシスコ病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、虹が丘病院、光晴会病院、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)
		その他	長崎みなとメディカルセンター、掖済会病院、長崎記念病院、田上病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、聖フランシスコ病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、虹が丘病院、光晴会病院、日浦病院、千綿病院、大久保病院、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)
	中毒	重症度・緊急度【高】	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、長崎記念病院、井上病院、済生会長崎病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、日浦病院、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)
		その他	長崎みなとメディカルセンター、長崎記念病院、田上病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、聖フランシスコ病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、虹が丘病院、日浦病院、千綿病院、大久保病院、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)

			医療機関リスト
意識障害	重症度・緊急度【高】 その他	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、長崎記念病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、聖フランシスコ病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、虹が丘病院、光晴会病院、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)	
		長崎みなとメディカルセンター、掖済会病院、長崎記念病院、田上病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、聖フランシスコ病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、虹が丘病院、上戸町病院、光晴会病院、日浦病院、千綿病院、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)	
外傷(一般)	重症度・緊急度【高】 その他	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、掖済会病院、長崎記念病院、田上病院、十善会病院、長崎原爆病院、済生会長崎病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)	
	長崎みなとメディカルセンター、掖済会病院、長崎記念病院、田上病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、聖フランシスコ病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、虹が丘病院、上戸町病院、日浦病院、千綿病院、大久保病院、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)		
外傷(整形外科)	重症度・緊急度【高】 その他	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、掖済会病院、長崎記念病院、田上病院、十善会病院、長崎原爆病院、済生会長崎病院、長崎百合野病院、虹が丘病院、日浦病院、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)	
	長崎みなとメディカルセンター、掖済会病院、長崎記念病院、田上病院、十善会病院、長崎原爆病院、井上病院、済生会長崎病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、虹が丘病院、上戸町病院、日浦病院、千綿病院、大久保病院、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)		
熱傷	重症度・緊急度【高】 その他	長崎大学病院、長崎記念病院、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)	
	長崎みなとメディカルセンター、長崎記念病院、田上病院、十善会病院、長崎原爆病院、聖フランシスコ病院、長崎百合野病院、長崎北徳洲会病院、上戸町病院、日浦病院、千綿病院、大久保病院、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)		
産婦人科	周産期	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)	
	婦人科	長崎みなとメディカルセンター、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)	
小児	重症度・緊急度【高】 その他	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)	
	長崎市立夜間急患センター、済生会長崎病院、長崎記念病院、長崎北徳洲会病院、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)		
精神科	重症度・緊急度【高】 その他	長崎県精神医療センター、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)	
	長崎県精神医療センター、長崎北徳洲会病院、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)		
口腔外科	重症度・緊急度【高】 その他	長崎大学病院、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)	
	長崎原爆病院、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)		
その他	重症度・緊急度【高】 その他	長崎大学病院、長崎百合野病院、長崎原爆病院、その他医療機関(ドクターヘリ要請・かかりつけ医療機関を含む)	
	長崎百合野病院、長崎原爆病院、その他医療機関(かかりつけ医療機関を含む)		

## 第4号(選定基準)

### 搬送医療機関選定

#### 1 基本的事項

医療機関の選定は傷病者の観察の結果、傷病者の症状、重症度・緊急度に基き行うこと。

#### 2 搬送先選定要領

- (1) 傷病者の観察等を実施する際、現病歴、既往歴及びかかりつけの医療機関等の情報を併せて把握し、観察基準チェックリスト(トリアージシート)に基づき搬送先選定の判断材料とすること。
- (2) 傷病者、家族又は関係者から、救急隊の選択によるか又は特定医療機関へ搬送依頼があるか、確認すること。
- (3) 救急隊が医療機関を選定(選択)する場合

医療機関の選定時には、懇切に説明し確實に了承を得ること。  
傷病者の症状(病態)を説明し、搬送先の選定は、傷病者の観察の結果、当該傷病者に適した区分に属する医療機関の中から最も搬送時間が短いものを選定することが基本となるが、夜間、休日及び年末年始は輪番制の当番医療機関の中から選定すること、長崎県救急医療情報システム等を用いて受入可能な医療機関の中から選定すること、また、かかりつけ医療機関がある場合には、状況に応じてそれを考慮して選定し、できれば複数病院の情報を提示すること。  
ただし、傷病者の状態を勘案し、緊急に治療の必要がある場合はこの限りではない。
- (4) 特定の医療機関へ搬送を依頼された場合
  - ア 傷病者、家族又は関係者から特定の医療機関へ搬送を依頼された場合、原則としてこれに応えること

イ 次の場合は傷病者等に充分な説明を行い、観察基準チェックリスト(トリアージシート)に基づき傷病者の症状に適した医療機関へ搬送するよう努めること

    - (ア) 傷病者の症状等から、高度な治療(専門性・高次対応)が必要と判断し、関係者等から依頼された医療機関では処置困難であると判断した場合
    - (イ) 傷病者の症状等から、依頼された医療機関まで症状を悪化させずに搬送することが困難と予想される場合
    - (ウ) 依頼された医療機関までの距離等、業務上支障があると判断した場合。  
ただし、特定疾患等で依頼された医療機関でしか対応が困難な場合はこの限りではない。
  - (5) 傷病者等に傷病者の症状(病態)及び救急医療体制等の十分な説明を行ったにもかかわらず同意が得られない場合、依頼された医療機関の医師等の判断を仰ぐこと(必要に応じ、傷病者、関係者等により直接医師等と連絡させることも考慮すること)
  - (6) 前号により救急隊が搬送することを医療機関が了承した場合は、依頼された医療機関へ搬送すること。

第5号(伝達基準)

医療機関への受け入れ要請連絡

1 医療機関が傷病者を収容できるかどうかの判断のために、必要な事項を簡潔に伝えること。

- (1) 救急隊名及び搬送連絡を行っている者の氏名(必須事項)
- (2) 傷病者の年齢(推定も可)及び性別(ファーストコール必須事項)
- (3) 現病歴、事故概要 受傷機転(ファーストコール必須事項)
- (4) 傷病者の状態 主訴、バイタル、心電図情報等(ファーストコール必須事項)
- (5) 実施した処置(ファーストコール必須事項)
- (6) 医療機関への予想到着時間(ファーストコール必須事項)
- (7) 既往歴

## 第6号(受入医療機関確保基準)

### 受入医療機関確保基準

#### 1 傷病者の受け入れに関する消防機関と医療機関との間の合意を形成するための基準

第5号までの基準に従って、傷病者の搬送及び受け入れの実施を試みてもなお、傷病者の受け入れに時間がかかるケースが発生することが考えられる。

そのような場合に傷病者を速やかに受け入れるため、消防機関と医療機関の間で合意を形成する等のルールを設定する。

##### (1) 搬送先医療機関が速やかに決定しない場合の設定

当該ルールを適用すべき場合について、照会回数4回以上、又は現場滞在時間(医療機関の選定に要している時間)30分以上を設定

##### (2) 受入医療機関の確保について

ア 救急隊は、長崎県救急医療情報システムに基づき受け入れ可能な二次救急医療機関と交渉し、上記(1)の場合は管外医療機関への搬送も考慮し、長崎大学病院救命救急センターへ連絡し助言を受ける。

イ 救急隊が重度傷病者と判断し、管内の三次医療機関が受け入れ不可の場合は、管外の三次救急医療機関への搬送を考慮し、長崎大学病院高度救命救急センターへ連絡し助言を受ける。

## 第7号(その他基準)

### 搬送手段の選択に関する基準

早期初期治療の必要があるため、ドクターへリ、消防防災へリ及びドクターカーを活用する場合には、救急車を活用した場合と、ヘリコプター等を活用した場合において、どちらが傷病者の生命や予後の観点から適当かを勘案し要請すること。

# 観察基準チェックリスト(トリアージシート 内因性)

救急隊名	覚知日時 平成 年 月 日 時 分			
医療機関到着日時 平成 年 月 日 時 分	搬送先医療機関			
傷病者情報 氏名: 男・女、M,T,S,H 年 月 日生 ( 歳)				
初期評価		有	無	
評価せず				
気道閉塞、無呼吸		口	口	
脈拍触知せず		口	口	
		有	無	
評価せず				
生理学的評価	GCS4-5-6	8以下		
	またはJCS	30以上		
	呼吸数	10未満30以上		
	SpO2	90%未満		
	脈拍数	50未満120以上		
	収縮期血圧	90mmHg未満		
	体温	34 未満40 以上		
		有	有	
全身詳細観察,SAMPLE		有	無	
評価せず				
主訴、症状	脳血管疾患	片側の麻痺		
		一側のしびれ感		
		言語障害		
		突然の激しい頭痛		
		偏視		
		片側の視力障害		
		めまい		
循環器疾患	失調			
	20分以上の持続する胸痛・絞扼感			
	肩、下頸(歯)、上腹部の痛み、背部の激痛			
	心臓病+胸部不快感			
	心電図モニター( 、 、 MCL)ST変化			
	不整脈(Vf, VT, 3度AVblock)			
	失調			
呼吸困難	チアノーゼ、起坐呼吸			
	努力呼吸、著明な喘鳴			
	著明な浮腫			
	喘息発作(声を出せないもの)			
	喀血(概ね100ml以上)			
	広範囲湿性・乾性ラ音			
	失調			
消化管出血	吐血または血性吐物、下血			
	消化器症状+高度な貧血、肝硬変			
	腹壁緊張、腹膜刺激症状			
	急性腹症	筋性防御、腹壁緊張、圧痛、腹膜刺激症状		
		高度脱水、高度貧血、グル音消失		
		有響性金属製グル音、妊娠の可能性		
		腹部の異常膨隆、頻回の嘔吐		
意識障害		進行性の意識障害		
		痙攣重積(30分以上)		
		高度脱水		
	項部硬直、頭痛・嘔吐、			
	低酸素環境、高温/低温環境			
	無し			
C 二次医療機関、地域基幹医療機関、かかりつけ医療機関等				
医療機関選定理由(A B C)		収容決定までの医療機関への交渉回数( )		

観察基準チェックリスト(トリアージシート 外因性)

救急隊名	見知り日時 平成 年 月 日 時 分				
医療機関到着日時 平成 年 月 日 時 分	搬送先医療機関				
傷病者情報 氏名: 男・女、M,T,S,H 年 月 日 生 ( 歳)					
初期評価		有	無	評価せず	
気道閉塞	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
呼吸異常	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
ショック症状	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
意識低下	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
		有	無	評価せず	
生理学的評価	GCS4-5-6	8以下			
	またはJCS	30以上			
	呼吸数	10未満30以上			
	脈拍数	50未満120以上			
	収縮期血圧	90mmHg未満			
		有			
全身観察		有	無	評価せず	
開放性頭蓋陥没骨折					
顔面・頸部の高度な損傷,					
頸部・胸部の皮下気腫					
外頸静脈の著しい怒張					
胸郭の動搖・フレイルチェスト					
腹部膨隆・筋性防御					
骨盤の動搖・下肢長差					
頭頸部から鼠径部までの鋭的損傷					
15%以上の熱傷または気道熱傷					
両大腿骨折					
デグロービング損傷					
四肢の礫断					
四肢の麻痺					
状況評価		有	無	評価せず	
同乗者の死亡					
車の横転					
車外に放り出された					
車が高度に損傷している					
救出に20分以上要した					
60km/hr以上での衝突					
バイクと運転手の距離大					
30km/hr以上で走行					
車に礫過された					
5m以上はねとばされた					
咽衝突部のバンパーに変形あn					
リ機械器具に巻き込まれた					
体幹部が挟まれた					
高所墜落(6m以上)					
		有	無	評価せず	
熱傷	度熱傷30%以上				
	度熱傷10%以上				
	化学熱傷・電撃傷				
	気道熱傷				
	顔、手、足、陰部、関節の熱傷				
	他の外傷を合併する熱傷				
	小児 度熱傷10%以上、高齢者 度熱傷5%以上				
		有	無	評価せず	
中毒	毒物摂取・医薬品(少量の眠剤、抗精神薬を除く)				
	工業用品(強酸、強アルカリ、石油製品、青酸化合物)				
	覚醒剤・麻薬、毒性のある食物、農薬、家庭用品(防虫剤、殺鼠剤等)				
	有毒ガス・何を飲んだか不明のもの				
		有	無	評価せず	
		無			
C 二次医療機関、地域基幹医療機関 かかりつけ医療機関等					
医療機関選定理由 (A B C)			収容決定までの医療機関への交渉回数( )		

# 観察基準チェックリスト(トリアージシート 小児)

救急隊名	覚知日時	平成 年 月 日 時 分		
医療機関到着日時	平成 年 月 日 時 分	搬送先医療機関		
傷病者情報	氏名: 男・女、M,T,S,H	年 月 日 生 ( 歳)		
初期評価		有 無 評価せず		
気道閉塞、無呼吸		口 口	有	A
脈拍触知せず		口 口		
新生児(生後28日未満)		有 無 評価せず		
生理学的評価	GCS4-5-6	8以下		重症度・緊急度が高い疾患に対応できる三次医療機関、二次医療機関、地域基幹医療機関等(ドクターへリ要請を考慮)
	またはJCS	100 以上		
	呼吸数	30 回 / 分未満または50 回 / 分以上		
	SpO2	90%未満		
	脈拍数	150 回 / 分以上または100 回 / 分未満		
	収縮期血圧	収縮期血圧70mmHg 未満		
	体温	34 未満40 以上		
	アブガ - スコア	出生後5分以上の7点以下		
乳児(生後28日から1歳未満)		有 無 評価せず		
生理学的評価	GCS4-5-6	8以下		B
	またはJCS	100 以上		
	呼吸数	20 回 / 分未満または30 回 / 分以上		
	SpO2	90%未満		
	脈拍数	120 回 / 分以上または80 回 / 分未満		
	収縮期血圧	収縮期血圧80mmHg 未満		
	体温	34 未満40 以上		
	乳幼児の体動が著しい場合、乳幼児が号泣している場合等で、各項目を測定することが困難な場合は、第2段階の症状等に示されている項目を優先して観察し、重症度・緊急度を判断する。			
幼児(1歳から6歳未満)		有 無 評価せず		
生理学的評価	GCS4-5-6	8以下		重症度・緊急度が高い疾患に対応できる三次医療機関、傷病別専門救急医療機関、二次医療機関、地域基幹医療機関等(ドクターへリ要請を考慮)
	またはJCS	100 以上		
	呼吸数	20 回 / 分未満または30 回 / 分以上		
	SpO2	90%未満		
	脈拍数	110 回 / 分以上または60 回 / 分未満		
	収縮期血圧	収縮期血圧80mmHg 未満		
	体温	34 未満40 以上		
	乳幼児の体動が著しい場合、乳幼児が号泣している場合等で、各項目を測定することが困難な場合は、第2段階の症状等に示されている項目を優先して観察し、重症度・緊急度を判断する。			
症 状 等		有 無 評価せず		
ぐったり、または、うつろ				
異常な不機嫌・興奮				
妊娠36週未満の新生児、低体温				
頻回の嘔吐あるいは胆汁性の嘔吐				
多発外表奇形の新生児				
出血傾向(血液が固まらない、注射部位よりの出血、紫斑など)				
高度の黄疸				
脱水症状(皮膚乾燥、弾力なし)				
瞳孔異常(散瞳、縮瞳)				
痙攣の持続				
		無		
C 二次医療機関、地域基幹医療機関、かかりつけ医療機関等				
医療機関選定理由(A B C)		収容決定までの医療機関への交渉回数( )		

観察基準チェックリスト(トリアージシート 周産期)

救急隊名	覚知日時 平成 年 月 日 時 分		
医療機関到着日時 平成 年 月 日 時 分	搬送先医療機関		
傷病者情報 氏名: 男・女、M,T,S,H 年 月 日生 ( 歳)			
初期評価		有	無
気道閉塞、無呼吸		口	口
脈拍触知せず		口	口
		有	無
GCS4-5-6 8以下			
またはJCS 30以上			
呼吸数 10未満30以上			
SpO2 90%未満			
脈拍数 50未満120以上			
収縮期血圧 90mmHg未満			
体温 34 未満40 以上			
有			
症 状 等		有	無
大量の性器出血			
腹部激痛			
腹膜刺激症状			
異常分娩			
呼吸困難			
チアノーゼ			
痙攣			
出血傾向(血液が固まらない、注射部位よりの出血、紫斑など)			
子癪前駆症状		有	無
中枢神経症状(激しい頭痛あるいはめまい)			
消化器症状(激しい上腹部痛、激しい嘔気あるいは嘔吐)			
眼症状(眼がちかちかする、視力障害あるいは視野障害)			
無			
C 二次医療機関、地域基幹医療機関、かかりつけ医療機関等			
医療機関選定理由(A B C )	収容決定までの医療機関への交渉回数( )		

A  
重症度・緊急度が  
高い疾患に対応で  
きる三次医療機  
関、二次医療機  
関、地域基幹医療  
機関等(ドクターへ  
リ要請を考慮)

B  
重症度・緊急度  
が高い疾患に  
対応できる三次  
医療機関、傷病  
別専門救急医  
療機関、二次医  
療機関、地域基  
幹医療機関等  
(ドクターへリ要  
請を考慮)